

2021年3月2日
株式会社 ZMP

スーパーシティ・スマートシティ向けモビリティサービスを提供 —自動走行・自動配送技術とクラウド連携で人とモノの移動を最適化—

株式会社 ZMP(東京都文京区、代表取締役社長:谷口 恒、以下 ZMP)は、「スーパーシティ・スマートシティ」構想向けのモビリティサービスの提供を開始いたします。

本サービスは、自動走行技術・自動配送技術を活用し、人とモノの移動を最適化するサービスです。公道や特定エリア内での人の移動を担う小型 EV バスタイプ RoboCar® Mini EV Bus、SUV タイプ RoboCar SUV、ミニバンタイプ RoboCar MiniVan といった自動運転車両、公道(歩道)とビル・施設内を歩行速で移動し人の移動・モノの配送・警備を担う歩行速ロボ®三兄弟「ラクロ®」「デリロ®」「パトロ®」、そして、バックヤードでのモノの移動を担う物流ロボット CarriRo® シリーズをラインナップ。これらのモビリティは、自動で走行するため、運転操作が不要であり、また、目的地まで人を介さずにモノを届ける事が可能なため、コロナ禍における非接触のサービスとしても注目を集めています。これらのモビリティはすべてロボットマネジメントプラットフォーム「ROBO-HI®」に接続、各モビリティの監視と最適な配置が可能であり、高度な自動走行システムの運用を効率的に行うことができます。ROBO-HI は API 連携に対応し、スーパーシティ・スマートシティを実現する様々な IT サービス基盤とデータ連携が可能です。

RoboCar シリーズは、都心部公道での自動運転タクシーなど次世代のモビリティサービスの実証で活用されています。

物流支援ロボット CarriRo シリーズは、工場・物流施設などで既に 200 社以上に導入され、ホテルなどでもご利用頂いています。

一人乗りロボ「ラクロ」は、既に東京都中央区で住民向けのシェアリングサービスを実施し、その他に姫路市や奈良市での観光客向けサービスや土浦市では郊外の住宅地での社会実証が進められています。

宅配ロボ「デリロ」は日本郵便やENEOSと公道での社会実証が行われています。様々な社会のニーズに合わせ、自動運転によるサービスはすでに街の中で実用化されはじめています。

現在、全国各地で構想が進められている「スーパーシティ・スマートシティ」に求められる、「住民目線によりよい暮らしを実現する」という目的の達成に向け、ZMP は自動運転モビリティサービスにより貢献をいたします。

スーパーシティ向け自動運転モビリティサービス

<https://www.zmp.co.jp/products/robocar-innovation/smart-city-service>



スーパーシティ・スマートシティ向けモビリティサービスのイメージ



【本件に関するお問合せ】

株式会社 ZMP ロボリユーション事業部

TEL:03-5844-6210 E-Mail: info@zmp.co.jp

【株式会社 ZMP】

<http://www.zmp.co.jp/>

本社：東京都文京区

代表取締役社長：谷口 恒



「Robot of Everything ヒトとモノの移動を自由にし、楽しく便利なライフスタイルを創造する」というミッションのもと、①ヒトの移動を担う『自動運転車両 RoboCar®シリーズ』、②モノの移動を担う『物流ロボット CarriRo®シリーズ』、③『低速自動運転ラ イフロボットシリーズ』を活用したサービス、また④それらを管理する『ロボットクラウドシステム ROBO-HI®』など、ロボット・自動 運転技術をコアとする製品・サービスを提供しています。

日本初の公道走行を実現した DeliRo®、佃・月島でサービス開始した RakuRo®は、「ロボットを社会インフラへ」を目指し、 戦略的事業パートナーを募集中です。ZMP はこれからも世の中に感動を与える製品やサービスを提供してまいります。